

バッハ・コレギウム・ジャパン

モーツァルト
レクイエム

W.A.MOZART REQUIEM



鈴木優人(指揮)

バッハ・コレギウム・ジャパン(合唱・管弦楽)

W.A.モーツァルト

交響曲第39番 変ホ長調 KV 543

レクイエム KV 626(鈴木優人補筆校訂)

モーツァルトが最後に遺した聖なる歌。
不朽の名作を、音楽界を席卷する指揮者と
豪華ソリストたちの共演で。



森麻季(ソプラノ)



藤木大地(アルト)



櫻田亮(テノール)



ドミニク・ヴェルナー(バス)

全席指定 / S席7,500円 A席6,500円 こども・学生1,000円

◆友の会先行販売 / 7月17日(日)~23日(土) ◆一般発売 / 7月24日(日)~

※こども・学生は28歳以下の学生 ※未就学児入場不可 ※グランシップ友の会会員特典対象事業 ※「静岡県高校生アートラリー」対象事業 ※公演1週間以内に残席がある場合、定価より2割引きとなります。(こども・学生は除く)

チケット販売・お問い合わせ

グランシップチケットセンター TEL 054-289-9000 (10:00~18:30 / 休館日を除く)
グランシップホームページから空席状況に応じてお好きな席を選んで購入できます。

最新情報はこちらから
<https://www.granship.or.jp>



2022年10月29日 土 15:00開演(14:15開場) グランシップ 中ホール・大地

主催：公益財団法人静岡県文化財団、静岡県
後援：静岡県教育委員会、静岡市教育委員会



文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



モーツァルト最後の作品「レクイエム」と、三大交響曲のひとつ「交響曲第39番」。
オリジナル楽器のオーケストラと合唱団として世界から称賛されるバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)が、
人気ソリストと紡ぎ出す神聖な響き。

鈴木 優人 (指揮/バッハ・コレギウム・ジャパン首席指揮者)
Masato Suzuki, conductor



©Marco Borggreve

東京藝術大学及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞受賞。第29回(2021年度)渡邊曉雄音楽基金音楽賞受賞。2017および2020年「鈴木優人プロデュース・BCJオペラシリーズ」はバロック・オペラの新機軸として高く評価された。J.S.バッハBWV190喪失楽章の復元(Carus)や、モーツァルト「レクイエム」の補筆・校訂(Schott Music)が高い評価を得ている。舞台演出、企画プロデュース、作曲とその活動に垣根はなく各方面から大きな期待が寄せられている。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー、読売日本交響楽団指揮者/クリエイティブ・パートナー、アンサンブル・ジュネシス音楽監督、九州大学客員教授。

Twitter / @eugenesusuki
Facebook & Instagram / masatosuzukimusic

森 麻季 (ソプラノ)
Maki Mori, soprano



©Yuji Hori

日本を代表するオペラ歌手。東京藝術大学、同大学院、文化庁オペラ研修所修了後、ミラノとミュンヘンに留学。P.Dミンゴ世界オペラコンクールをはじめ、多数の国際コンクールに上位入賞。ワシントン・ナショナルオペラでアメリカデビュー。国内外の著名指揮者および主要オーケストラとの共演に加え、ドレスデン国立歌劇場「ばらの騎士」、トリノ王立歌劇場「ラ・ボエーム」に出演を重ねて、国際的な評価を高める。2015年兵庫オペラ「椿姫」、2017年BCJとの歌劇「ポッペアの戴冠」でタイトルロールを好演。デビュー20周年記念アルバム「至福の時」をリリース(エイベックス・クラシックス)。ワシントン・アワード、五島記念文化賞、出光音楽賞、ホテルオークラ賞受賞。

https://twitter.com/makimori_sop

藤木 大地 (アルト)
Daichi Fujiki, alto



©hiromasa

2017年にウィーン国立歌劇場に鮮烈なデビューを飾った。2012年日本音楽コンクール第1位。2013年、ボローニャ歌劇場でヨーロッパデビュー。国内では、主要オーケストラとの公演や各地でのリサイタルがいずれも絶賛を博している。新国立劇場では、プリテン「夏の夜の夢」にオーペロン役で主演、またBCJとのヘンデル「リナルド」でもタイトルロールを務め聴衆を魅了。オペラ歌手としての人気を不動のものにする。バロックからコンテンポラリーまで幅広いレパートリーで活動を展開し、デビューから現在まで絶えず話題の中心に存在する。日本が世界に誇る国際的なアーティストのひとりである。

横浜みなとみらいホールプロデューサー2021-2023。

櫻田 亮 (テノール)
Makoto Sakurada, tenor



©Ribaitaluce

声楽を故平野忠彦、G.ファブリーニ、W.マッテウツィ、G.バンディテッリの各氏に師事。第27回イタリア声楽コンクール、シエナ部門大賞、2002年ブルージュ国際古楽コンクール第2位(声楽最高位)など受賞多数。国内外の古楽アンサンブルやモダン・オーケストラ等と多数共演する他、クレモナ音楽祭「ウリッセの祖国への帰還」、エディンバラ音楽祭「オルフェオ」など主要なオペラ舞台でも活躍している。日本イタリア古楽協会運営委員長としてイタリア・バロック音楽の普及に務める。2020年4月の《マイ受難曲》BCJ公演でのエヴァンゲリストは国内外でオンライン配信も行われ、高い評価を得た。東京藝術大学教授。二期会会員。

ドミニク・ヴェルナー (バス)
Dominik Wörner, bass



©Wolfgang Schmitt

シュトゥットガルトで教会音楽を、フライブルクで音楽学とチェンバロを学ぶ。2002年ライプツィヒ国際バッハ・コンクール優勝。リート作品への興味も深く、ドイツ・ロマン派作品の演奏を中心に現代曲の初演なども行うなど、そのレパートリーは多岐にわたる。BCJとは2005年以来、国内外で定期的に度々共演を重ね、メンデルスゾーン「パウルス」や2018年6月ヨーロッパ公演での独唱等で高い評価を得ている。2019年6月に行われた調布国際音楽祭では、モーツァルト「後宮からの誘拐」でオスミン役を務め、好評を博した。キルヒハイム音楽祭芸術監督。

バッハ・コレギウム・ジャパン (合唱・管弦楽)
Bach Collegium Japan, chorus & orchestra



©K.Miura

鈴木雅明が世界の第一線で活躍するオリジナル楽器のスペシャリストを擁して結成したオーケストラと合唱団。バッハの宗教作品を中心としたバロック音楽の理想的上演を目指し、日本国内のみならずライプツィヒ・バッハ音楽祭、BBCプロムス、カーネギーホール、コンサートホウ等、活発な演奏活動を展開。

2013年度第45回サントリー音楽賞を鈴木雅明と共に受賞。「バッハ:教会カンタータ全曲シリーズ」が2014年「ヨーロッパのグラミー賞」と称されるエコークラシック賞エディトリアル・アチーブメント・オブ・ザ・イヤー部門を受賞。モーツァルト《ミサ曲ハ短調》(2017年)、J.S.バッハ《マイ受難曲》(2020年)が権威ある英国の音楽賞グラモフォン賞を受賞。2020年上演の鈴木優人指揮・ヘンデル《リナルド》公演が2021年第19回佐川吉男音楽賞を受賞。

事前レクチャー 鈴木優人が語る、モーツァルト「レクイエム」 演奏付

本公演の指揮者であり、「レクイエム」の補筆も手掛けた鈴木優人だからこそ語れるレクイエムの神髄とその魅力。 **事前申込制 7/17日~受付開始**

日時:2022年10月15日(土) 14:00~

会場:グランシップ 地下リハーサル室

参加費:一般1,000円、こども・学生500円(28歳以下の学生) ※未就学児入場不可

お問い合わせ

お電話での申込

TEL.054-289-9000(グランシップチケットセンター)

WEBでの申込

グランシップホームページの申込フォームからご応募ください。



お客様へのお願い

- ・発熱または風邪の症状がある方は、ご来場をお控えください。
- ・会場でのマスク着用、検温、手指のアルコール消毒にご協力ください。
- ・会場内では会話を控えください。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、本公演を変更・中止する場合や「お客様へのお願い」を変更する場合があります。必ずグランシップホームページで最新情報をご確認の上、ご来場ください。



交通アクセス

- ・JR東静岡駅南口隣接。
 - ・静岡鉄道長沼駅徒歩10分。
 - ・東海道新幹線(ひかり)で東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
 - ・車では、東名高速道路静岡ICから20分。日本平久能山スマートICから10分。新東名高速道路新静岡ICから15分。静岡バイパス千代田上土ICから10分。
- 公演当日は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。



車椅子でご来場の方は公演前日までにご連絡ください。
【車椅子のご来場のお問い合わせ】(公財)静岡県文化財団文化事業課 TEL.054-203-5714



〒422-8019 静岡県駿河区東静岡二丁目3-1
グランシップ指定管理者:公益財団法人静岡県文化財団
https://www.granship.or.jp

